

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和元年10月

計画の名称	石川の地域資源を活かした魅力ある公園づくり		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度 (3年間)	交付対象	石川県
計画の目標	本県固有の地域資源を活用した県営都市公園の整備と、誰もが利用しやすく安全で安心な整備、施設の充実などにより、交流人口の拡大を図り、地域の活性化を促すとともに、豊かで潤いのある県民生活の実現を図る。		

計画の成果目標 (定量的指標)	① 都市公園来園者満足度を増加させる (魅力向上事業、安全安心事業等、公園の充実に対する指標として) ② 重点的に整備する白山ろくテーマパークの利用者数を1.3倍に増加 (新たな園地整備の指標として)
-----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H25年度)	中間目標値 (H28年度)	最終目標値 (H29年度)									
① 県営公園10公園 (粟津公園、木場潟公園、松任海浜公園、手取公園、犀川緑地、奥卯辰山健民公園、北部公園、健民海浜公園、西部緑地公園、本多の森公園) の利用者に対する満足度を測定する。 (アンケートの5段階評価を数値化、各公園の値を平均)	85%	86%	87%									
② 対象公園 (白山ろくテーマパーク) の合計入園者数を測定する。	5万人	5万人	6万5千人									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,040 百万円	A	840 百万円	B	0 百万円	C	200 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	19.2%

事後評価

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価の実施時期
石川県公共事業評価監視委員会において評価を実施	計画期間終了後 公表の方法 石川県ホームページで公開

1. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【県営公園10公園の来園者満足度】 ・老朽化した施設の改築更新等により、公園施設の充実が図られ、公園利用者の満足度が向上した。 【白山ろくテーマパークの利用者数】 ・整備を進めている「河合・下野園地」の供用に至らなかったが、整備済み園地での利用者数が増加した。
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標① (県営公園10公園の来園者満足度)	最終目標値	87%	目標値と実績値に差が出た要因	施設更新のほか、指定管理者が日常清掃や維持修繕等により美観の向上に努めた結果、来園者の満足度向上につながり、最終目標値を上回った。
		最終実績値	89%		
	指標② (白山ろくテーマパークの利用者数)	最終目標値	6万5千人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	7万1千人		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・白山ろくテーマパーク「河合・下野園地」の部分開園 (令和元年6月1日 供用面積A=4.8ha) 利用者数約3,700人 (6~9月)
---------------------------------------	---

2. 特記事項 (今後の方針等)

・白山ろくテーマパーク「河合・下野園地」の全体供用 (A=14.3ha) に向け、引き続き、整備の進捗を図る。
---